

# Business Report 2020

2019年10月1日～2020年9月30日

## 2020年9月期の取り組み

### 新型コロナウイルス感染症への対応

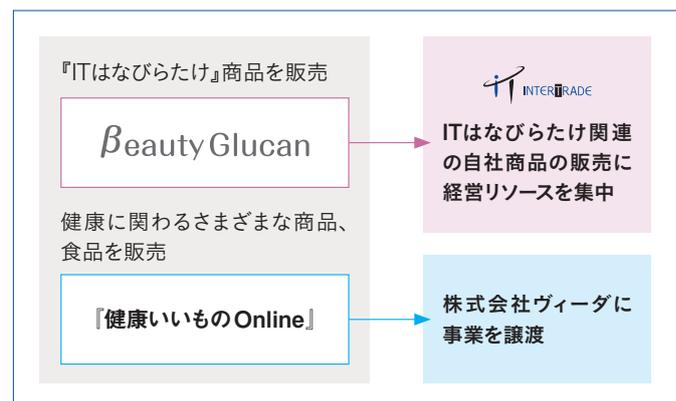
インタートレードグループでは、お客様および従業員の安全確保を最優先に、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めています。時差出勤・在宅勤務、社内におけるマスクの配布・着用を推奨し、執務室に入室する際のアルコール消毒の徹底、オフィスでの3密を回避しつつ衛生管理を徹底しています。

2009年に日本で新型インフルエンザが猛威を振るった際の教訓を生かし、それ以来大量のマスクを社内に常時備蓄しており、2020年4月に緊急事態宣言が発出され、マスクの入手が困難な状況においても、全従業員に常にマスクを提供し続けることができました。

withコロナに対応した新たな働き方を模索する中で、ソリューション事業におけるお客様のビジネスの根幹を支えるシステムベンダーとしてサービスの質を落とすことなく、これまで通り社員一丸となったサポート、ヘルスケア事業においては商品提供を止めることがないよう最大限の努力をし、安定したサービスを継続してご提供できるように努めてまいります。

### ヘルスケア事業を整理

連結子会社である株式会社インタートレードヘルスケアは、通信販売事業を株式会社ヴィーダへ譲渡しました。インタートレードヘルスケアでは、当社グループ独自の機能性キノコ『ITはなびらたけ』の生産・加工、販売、研究を中心に、健康補助食品・化粧品の販売を行ってきました。近年『ITはなびらたけ』の認知度が高まってきたことから、他社商品も取り扱う通信販売事業を譲渡し、自社ブランド商品に経営資源を集中することにいたしました。今後は、ブランドサイト『Beauty Glucan』で『ITはなびらたけ』に関する情報発信・販売を行うとともに、原料販売やOEMの展開に注力し収益力を高めてまいります。



## 決算ハイライト 2020年9月期のポイント

- 主力の金融ソリューション・ビジネスソリューション事業において大口受注があり増収。
- ヘルスケア事業において収益構造が悪化していた通販事業を切り離し、減収となったものの採算は改善。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、子会社であった株式会社デジタルアセットマーケティングが連結の範囲の変更を伴う第三者割当増資を行ったことにより、持分変動利益を計上し黒字転換。

売上高

2,195百万円

経常利益

△83百万円

営業利益

19百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

50百万円



代表取締役社長

西村 一也

## 『Spider』を中心にFintech分野における 新たな成長領域の開拓を積極化していきます。

色が大きく変わると予想していますが、足下では現状路線を踏襲した活動を継続していきます。

ヘルスケア事業は、通販事業売却の影響により減収となったものの、事業構造の改善により利益面にはプラスに寄与しました。ハナビラタケの機能性を示せる成分同定に時間を要しているものの、研究開発を継続させ、将来のブレイクに向け、しっかりと下地作りを進めていきます。

### システム提供もB to Bから B to B to Cを視野に入れる時代に

金融工学は、いかにしてお金がお金を生むかのロジックですが、金融は、価値があると信じさせる、いわば心理学の領域です。ですから信用力、価格の妥当性、安心・安全を担保するセキュリティがすべてであり、昨今頻発しているサイバー金融詐欺被害は、金融そのものの土台を崩すことにつながります。

しかし、現段階ではセキュリティを高めると使いにくくなることも確かで、解決する技術に到達するにはまだ時間がかかると思われます。もちろん時間とともに改善していく方向にはあり、いずれ復活は見込めるものの、金融システムのカテゴリは、成長期が終わり、冬の時代に突入したと言わざるを得ません。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により業績が悪化した企業も多く、システム投資の見送り、様々な事業からの撤退を決断する企業が増えていくことと見ています。

一方で、「デジタル化」の流れはより加速しています。それは、これまでの人手を介していた労働の一部を機械に置き換えて利便性を増すという初期のデジタル化ではなく、世界中で、人の代わりに機械が動くという新しいデジタル化へシフトする流れで

す。これは従来、費用が高額で個人では手出しができなかったことや様々なビジネス機能を個人で得られるようになることを意味し、個人レベルで様々な事業を行える時代になるということです。つまり、企業を主体とした信用力ではなく、個人の信用力でビジネス展開していく形になる可能性も高く、近い将来、システム提供先が事業会社から個人へと移行していくことも考えられます。これまでB to Bを中心に事業展開してきた当社も、根本的に考え方を変えていく必要があると感じています。

### 本格的なデジタル化時代向け 「キャッシュレス」の定義からベースを実装

すでに、バーチャル世界では、「デジタルデータ」の新たな価値が出現しています。現実の世界でデジタルデータを利用するには、本物の価値を担保に発行され、かつ、偽金ならぬ偽データが作れないこと、また価格の妥当性や安全性がすべてクリアされることが必要です。その実現にブロックチェーン技術が選ばれるのは、分散化の技術、次なるアルゴリズムの実装版や新型暗号技術が、サイバー攻撃に対してもっとも屈強だと考えるからです。

今後、ブロックチェーン2.0から3.0へ、デバイスネットワークは4Gから5Gへとシフトするに従い、個人が所有する自動車や冷蔵庫といった家電等デバイスにもデータが分散格納される時代になっていきます。その際のIoTは、デバイスが単にデータの受け渡しの指示を受けるコンピュータ間通信ではなく、コンピュータ同士でもっとも効率のいい、合理的な選択へ調整していくアルゴリズムによるコンピュータ間交渉が実現されることになるはずで、この段階になると、「デジタル化」が本格化を迎えることとなります。

また、世界経済の中で、紙幣や通貨といった銀行券なしに成立する取引、価値の交換をベースに、新しい経済圏が動くことが「トークンエコノミー」という呼び名で概念定義されています。この物々交換から紙幣、そしてデジタルデータへという流れが進む中で、世界ではすでに、「デジタル通貨」を中心とした

経済圏を作る動きも出始めています。日本でも2020年5月に、企業が信用を与える形でトークン(デジタルデータ)を発行できるよう法律改正されました。この事業者が発行するトークンによる「物々交換」の新しい流れを作ることを目指してサービスを提供することこそが、私たちの役割だと認識しています。

現在インタートレードは、「キャッシュレス」の定義から、本格的なデジタル化に向かうベースを順番に実装しながら、ブルーオーシャンの領域を開拓するアプローチを進めています。この本質的なデジタル化へのアプローチという新しいステージに入る2025年までは、既存技術でのFintechが進み、数年後には電子マネーやQR決済は競争が激化し、レッドオーシャンになると見込まれます。一方、当社が目指すブルーオーシャンの領域では、様々な企業が競争ではなく、協業・提携して成長し合う関係のビジネスモデルを成り立たせることができます。中でも金融機関、特に銀行を主体として、すでに保有している資産を有効活用しながら、新たな価値を生む方向へと展開をシフトさせていきたいと考えています。

### 株主の皆様へのメッセージ

本格的な「デジタル化」の時代に向かい、リアルタイムトランザクション処理を専門として、証券ディーリングのパッケージ商品やアルゴリズム自動化注文の処理のリアルタイム検証ツール等で積んできた実績は、新たな経済圏におけるリアルタイム処理にも確実に生きてきます。これまで培った金融商品取引業務に関わる様々なノウハウ・機能をコンポーネント化し、それらをピックアップもしくは融合させた『Spider』は、すでに販売拡大に向けて攻勢に出られる状況になっています。当社の既存顧客領域の金融取引の利用に止まらず、様々な取引の場面に活かせる商品であると確信しております。これまでは参入の難しかった銀行分野も含め、新しい領域へも技術力の実績で正面突破し、DAMSの成功と合わせ、必ずや成長軌道へと回帰させていきたいと考えています。引き続きご支援のほどお願いいたします。

### デジタル化への対応

経済のさらなる発展、少子高齢化など様々な問題を克服するために、経済全体の効率化を促進していく必要性がある。そのために、新技術となる「ブロックチェーン」「AI」「IoT」などを活用し、デジタルがコミュニケーションを行うことで新たな価値を創出していく。

### 超高齢化社会

世界的な高齢化の流れは顕著であり、日本でも高齢化による医療・社会保障・介護などの問題が噴出する中で、健康事業への要望が強く、マーケット規模は非常に大きい。

### 当社の考えるアプローチ

#### 金融ソリューション

新技術への対応、新しいプラットフォーム提供

#### ビジネスソリューション

事業会社の基幹システムのレガシー問題への対応

#### ヘルスケア

科学的な根拠を追求しライフスタイルへの提案

### 金融ソリューション

#### 『Spider』でFintech分野における 新たな成長領域の開拓

デジタル化が世界的に加速し、ブロックチェーンなどの新技術を活用した金融サービスに向かう中において、『Spider』を通じて新たなビジネス機会を提供。

#### 2021年9月期方針

- 既存顧客の保守・エンハンス案件の確実な遂行
- 大型案件の確実な遂行
- 非金融など広範囲にアプローチ

### ビジネスソリューション

#### 日本の事業会社の基幹システムの レガシー問題への対応

デジタル化が進む中において、多くの事業会社がこれまでのシステムの複雑化によりデータ活用ができていない状況であり、その問題の解消と新たな活用を提案。

#### 2021年9月期方針

- 既存ユーザの拡張案件対応
- 新しい案件の開拓

### ヘルスケア

#### 健康寿命産業への貢献

予防の観点からライフスタイルの見直し、意識の改革など効果的なアプローチを行い、サイレントエストロゲンという優れた機能性を通じて、健康長寿で楽しく過ごせる社会を実現。

#### 2021年9月期方針

- 『サイレントエストロゲン』の成分同定・作用機序の解明
- 大手取引先への積極的なアプローチ



## 株主優待のご案内



<https://beautyglucan.com/>

当社では、皆様の日頃からのご厚情に感謝するとともに、一人でも多くの株主様に商品をご体験いただきたいの思いから、株主優待制度を導入しております。9月末時点の株主様に、当社子会社が運営している通販サイト『Beauty Glucan』でご利用できるクーポンコードをご提供しています。ぜひこの機会にお試しください。

## 対象商品

当社子会社の株式会社インタートレードヘルスケアが運営する『Beauty Glucan』にて取り扱う全ての商品(定期コース及び一部割引との併用不可)

## 優待特典

5,000円以上のお買い物につき1回ご利用できる2,000円の割引クーポンコードをお配りします。保有期間に応じて割引クーポンの数が変わります。詳細は下記の表をご参照ください。

継続保有期間3年未満	2,000円割引のクーポンコード×6枚
継続保有期間3年以上	2,000円割引のクーポンコード×12枚

※継続保有期間とは同じ株主番号にて保有されている期間を指します。

## 対象となる株主様

9月末現在100株以上保有の株主様が対象になります。

## ご利用方法

株主会員登録を行っていただく必要がございます。ご登録後のお買い物時にカート内の所定の欄にクーポンコードをご入力いただくことでご利用ができます。詳細については当社ホームページの株主優待ページをご参照ください。

## ご利用にあたっての注意事項

- ・クーポンコードは1回のご利用で1枚に限り有効です。
- ・優待特典は通販サイト『Beauty Glucan』に限り有効です。
- ・株主様の当社保有状況は株主番号で管理しております。所有株式を全て売却された場合や証券会社の貸株サービスをご利用される場合は、株主番号が変わり継続性が途切れる場合がございます。

## 株主の皆様の疑問にお答えします!



1回の買い物で複数のクーポンコードは利用できますか?



お買いもの1回につき1枚のクーポンコードが使用可能となりますので、複数のご利用はできません。



送料はかかりますか?



お支払金額が8,800円以上の場合に送料無料となります。



『Beauty Glucan』に登録するのに、登録料はかかりますか?



登録は無料で行うことができます。年会費等もかかりません。

## 会社概要

(2020年9月30日現在)

商号	株式会社インタートレード		
設立	1999年1月25日		
本社所在地	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目17番21号 茅場町ファーストビル3階		
資本金	14億7,843万円		
従業員数	78名		

## 役員紹介

(2020年12月18日現在)

代表取締役社長	西本 一也	取締役(社外)	平石 智紀
取締役	尾崎 孝博	常勤監査役	川瀬 宏史
取締役	阿久津 智巳	監査役	内田 久美子
取締役	内藤 敏裕	監査役	中里 健一

## 株式の状況

(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	26,712,000株
発行済株式総数	7,444,800株
1単元の株式の数	100株
株主数	4,921名

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西本一也	1,346,400	18.09
ジャパンインベストメントアドバイザー	644,000	8.65
インタートレード(自社株)	259,200	3.48
尾崎孝博	229,500	3.08
SBI証券	204,400	2.75

※比率の計算は小数第3位四捨五入

## 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.itrade.co.jp/">https://www.itrade.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない理由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel: 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部